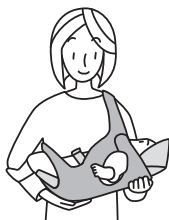


Combi

コンビ ニンナナンナ マジカルコンパクトファースト SK-B

Baby Soft Carrier 取扱説明書

ヨコだっこ



タテ対面だっこ



タテ前向きだっこ



おんぶ



子守帯を3年以上ご使用の場合、生地等の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。
不測の事態に備えてご使用をお控えください。

コンビ株式会社のホームページで、使いかたを動画で確認することができます。

品質保証書付



- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

お使いいただく前に

ご使用の前に	1
安全にお使いいただくために	1
各部のなまえ	5
便利な使いかた	6
各部の調節方法	7

ヨコだっこ

新生児(0 ヶ月)～首すわり(7kg・4 ヶ月ころ)まで	
ヨコだっこの準備	8
ヨコだっこで使うには	9
ヨコだっこシートの取り付けかた	13

タテ対面だっこ

首すわり(4 ヶ月ころ)～13kg(24 ヶ月)まで	
タテ対面だっこの準備	14
タテ対面だっこで使うには	14

タテ前向きだっこ

首すわり(4 ヶ月ころ)～13kg(24 ヶ月)まで	
タテ前向きだっこで使うには	24

おんぶ

首すわり(4 ヶ月ころ)～15kg(36 ヶ月)まで	
おんぶで使うには	27

オプション

便利なオプション	30
----------------	----

お手入れ

お手入れ	31
------------	----

ご使用の前に

このたびはニンナナンナ マジカルコンパクトファーストをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、買い物などのときに使用するための1人用子守帯です。ご使用の前に、5ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

- 本製品は、お子さまを「ヨコだっこ」「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」できます。

■使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使いかたのスタイル	参考月齢				限度体重
	新生児 (0ヵ月)	首がすわる (4ヵ月ころ)	腰がすわる (7ヵ月ころ)	24ヵ月 36ヵ月	
ヨコだっこ	新生児～ 首すわり(7kg・4ヵ月ころ)まで				7kgまで
タテ対面だっこ		首すわり～ 24ヵ月まで			13kgまで
タテ前向きだっこ		首すわり～ 24ヵ月まで			13kgまで
おんぶ		首すわり～ 36ヵ月まで			15kgまで

※冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

※ヨコだっこ使用時のお子さまの身長は約64cmまでが目安です。

※本製品における新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上のお子さまを示します。

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

☐ 枠(2～4ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

⚠ 記号は警告・注意をうながす内容があることをお知らせするものです。

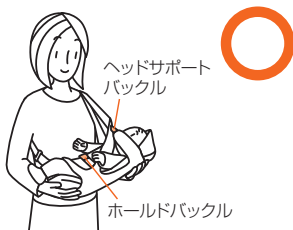
⚠ 警告

【とめる】

ご使用の際は、以下のバックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

●ヨコだっこする時

- ヘッドサポートバックル (左右)
- ホールドバックル



●タテだっこ (対面・前向き) する時

- ヘッドサポートバックル (左右)
- ワンタッチバックル
- ブリッジバックル



●おんぶする時

- ヘッドサポートバックル (左右)
- ブリッジバックル



【調節する】

ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

●ヨコだっこする時

- わきベルト (左右)
- ホールドベルト



●タテだっこ (対面・前向き) する時

- わきベルト (左右)



●おんぶする時

- わきベルト (左右)

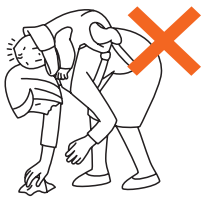


警告

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。



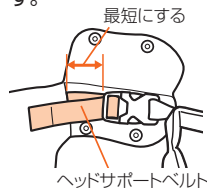
使用中に走ったり、飛び跳ねたり 45° 以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。



だっこするときは、必ず手で支えてください。
お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。



お子さまの顔が使用者の身体に密着する、あごが胸につくほど首が強く曲がるなど、気道をふさぐ状態にならないよう注意してください。



タテだっこやおんぶの際、ヘッドサポートを折って使うときには、お子さまの腕をヘッドサポートの上から出さないでください。落下のおそれがあります。



ヨコだっこするときは、お子さまの頭部をお尻よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。
不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



次のようなお子さまには、ヨコだっこで使用しないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

- 体重 7kg 超のお子さま
- ヨコだっこシートのヘッドガードから頭部が出てしまうお子さま
- 寝返りができるお子さま



首がすわっていないお子さまに対しては、絶対にタテだっこやおんぶをしないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、必ずヨコだっこシートをはずしてください。
お子さまの頭部を圧迫するおそれがあります。



製品の改造や不当な修理をしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

タテだっこやおんぶの際、お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(19ページを参照)

あたたまま使用すると落下のおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(19ページを参照)

あたたまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



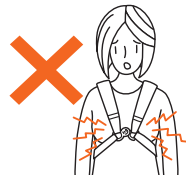
お子さまの様子をときどき確認してください。異常が見られたときには、すぐに使用をやめください。



授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。乳房を圧迫するおそれがあります。



ヨコだっこやタテだっこの際、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。



毛羽立ちやすい衣服など素材によっては、わきベルトのフチが引っかかる場合があります。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が1ヵ所でも破損したときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。



お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。破損・故障の原因になります。※歩行時以外での使用はできません。

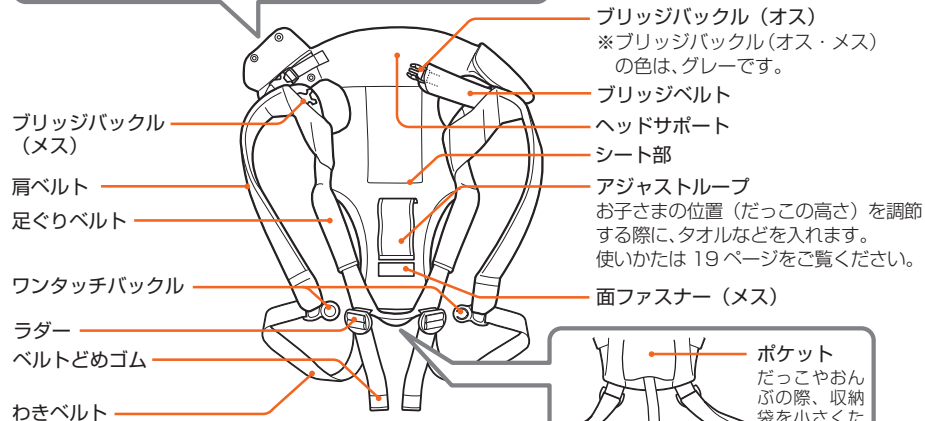
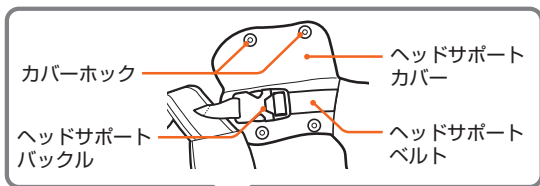


はずした状態のバックルの開口部に、お子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、けがをするおそれがあります。製品を使用しないときは、バックルをとめた状態で保管してください。



各部のなまえ

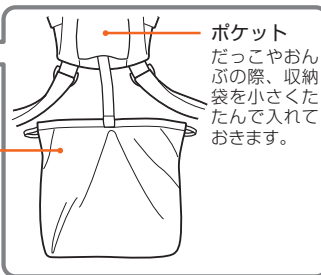
子守帯（本体）



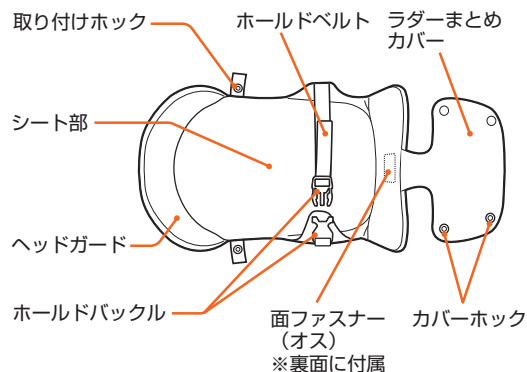
※使用者の身体にフィットするよう、あらかじめ半回転分ねじれています。

収納袋

子守帯(本体)を収納します。「くるくるコンパクト(収納機能)の使いかた」6 ページをご覧ください。



ヨコだっこシート



便利な使いかた

くるくるコンパクト(収納機能)の使いかた

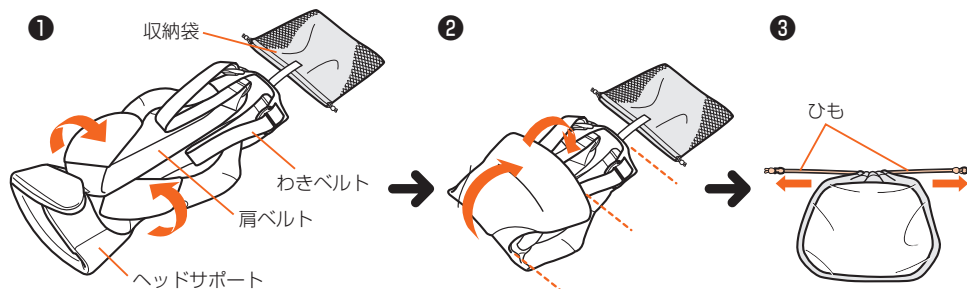
子守帯（本体）のコンパクトな収納方法です。※ヨコだっこシートははずします。

- ① 収納袋を取り出し、肩ベルト、わきベルトを子守帯のシート部内側に折ってまとめます。

※ヘッドサポート側を手前にとすると折りやすくなります。

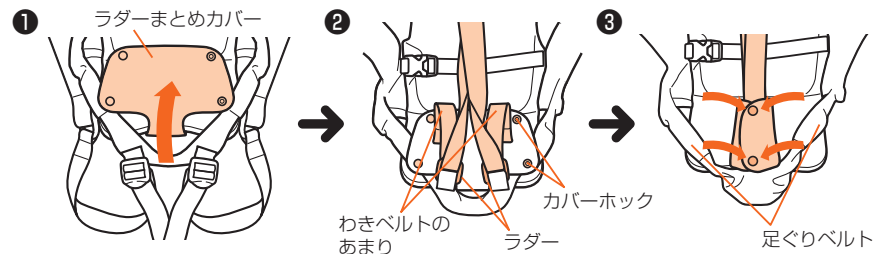
- ② そのまま三つ折りにします。

- ③ 収納袋に入れ、ひもを引っばります。



ラダーまとめカバーの使いかた（ヨコだっこ使用時）

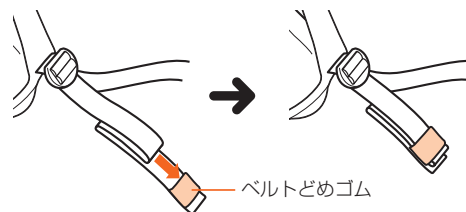
- ① ラダーまとめカバーを上方に広げます。
- ② ラダーまとめカバーの上に左右のラダーを下図のように置き、わきベルトをラダーまとめカバー内に収まるようにたたみます。
- ③ ラダーとたたんだわきベルトのあまりをラダーまとめカバーでつつみ、カバーホックをとめます。（※足ぐりベルトは、まとめません。）



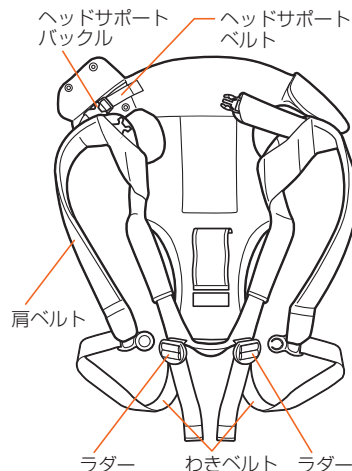
※ベルトなどがカバーから出ていても、ご使用上、特に問題はありません。

ベルトどめゴムの使いかた

わきベルトのあまりは折り返し、ベルトどめゴムでまとめることができます。



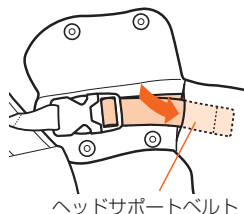
各部の調節方法



ワンポイント

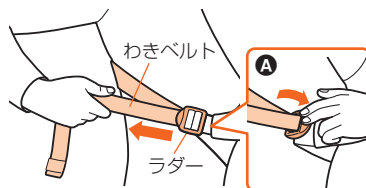


ヘッドサポートベルトのあまりは、図のようにシートの内側に収納できます。



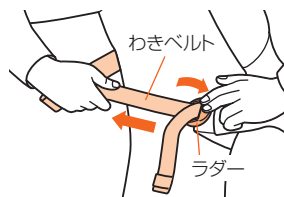
わきベルトの長さを調節する方法

● 短くするときは、わきベルトのあまりを引っばります。



※わきベルトが引きにくいときは、図 A のようにラダーを立てて引いてください。

● 長くするときはラダーを立てて、わきベルトを引き戻します。



注意 薄い生地、やわらかな生地など、衣服の素材によっては、まれにラダーに衣服が巻き込まれる場合があります。

ワンポイント

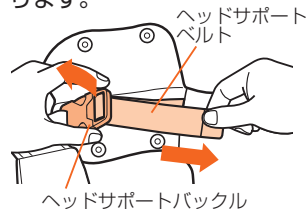


わきベルトを調節するのは、このようなときです。

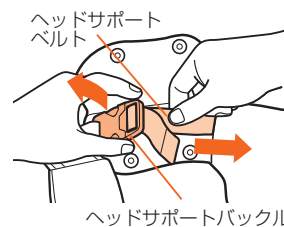
- ・お子さまの高さ調節。
- ・使用者の身体にフィットさせる。
- ・ヨコだっこ時、お子さまを良いアングルに調節。

ヘッドサポートベルトの長さを調節する方法

● 短くするときはヘッドサポートバックルを立てて、ヘッドサポートベルトのあまりを引っばります。



● 長くするときはヘッドサポートバックルを立てて、ヘッドサポートベルトを引き戻します。



ワンポイント



ヘッドサポートベルトを調節するのは、このようなときです。

- ・タテだっこやおんぶの際、お子さまの頭まわりの寸法を調節する。



警告 ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。

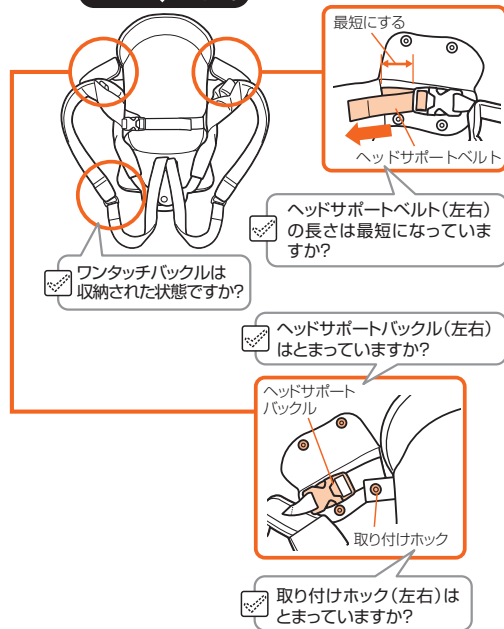
ヨコだっこの準備

各部の状態を確認する

開封時はヨコだっこシートがセットされていますが、必ず下記のチェックポイントで各部の状態を確認してください。

※ 確認後、ヘッドサポートベルトのあまりをシートの内側に収納し、左右のカバーホックをとめてヘッドサポートカバーを閉じてください。

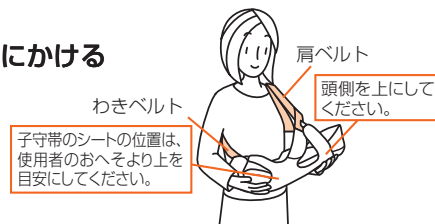
チェック✓ポイント



わきベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩ベルトがあうようにわきベルトの長さをラダーで調節します。

左右の肩ベルトを重ねて、
子守帯を肩からわきへななめにかける



※ わきベルトはあらかじめ半回転分ねじれています。

※ わきベルトを調節したあとは、あまったベルトやラダーをラダーまとめカバーの中にまとめ、カバーホックをとめます。〔「ラダーまとめカバーの使い方」 6ページをご覧ください。〕

●高さの調節

子守帯の位置が低いときは
わきベルトを短くします。

子守帯の位置が高いときは
わきベルトを長くします。
(7ページ参照)

●アングルの調節

使用者の身体に近い方のわきベルトを短めに調節(10cm程度)すると、お子さまをバランスよくだっこできます。

※開封時は、わきベルトが左右同じ長さにセットされています。
必ずご使用の前に調節してください。

良い状態



長くする 短くする

お子さまが片側へ寄らないよう、わきベルトを調節してください。

悪い状態



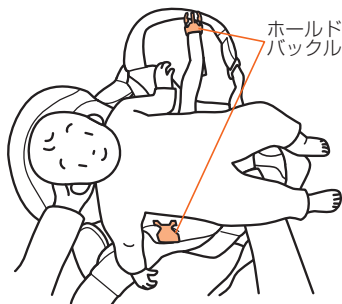
角度が傾き、お子さまが片側へ寄ってしまいます。

ヨコだっこで使うには

・左だっこ・右だっこ、どちらでもお使いいただけます。ここでは、左だっこで説明しています。

1 ヨコだっこシートにお子さまを乗せる

安全な場所に子守帯を広げ、ヨコだっこシートのホールドバックルをはずしたあと、お子さまを寝かせます。

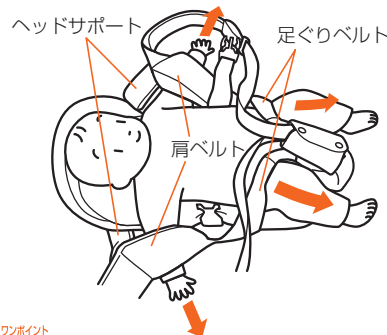


お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまの両足を、左右の足ぐりベルトに通す

足ぐりベルトを引っばると内部のゴムが伸び、足が通しやすくなります。

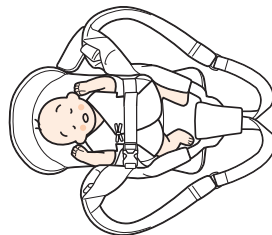
お子さまの両腕を、肩ベルトとヘッドサポートの間に通す



ワンポイント

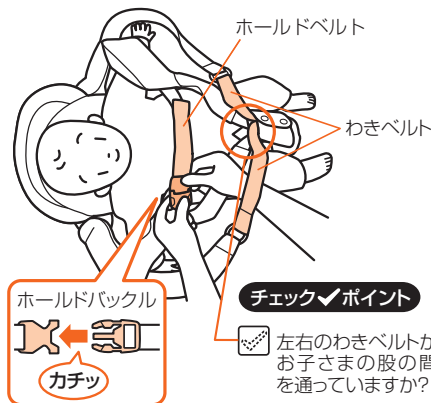


お子さまの腕や足は出さなくても、ヨコだっこができます。



3 ホールドベルトを締める

ホールドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込み、ホールドベルトの長さを調節します。

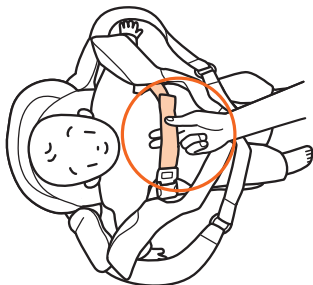


ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



ホールドベルトの長さの目安

ホールドベルトの長さは、大人の指（第2関節）が2～3本入るくらいが目安です。



ホールドベルトの調節方法

長くするとき



ホールドバックル

短くするとき



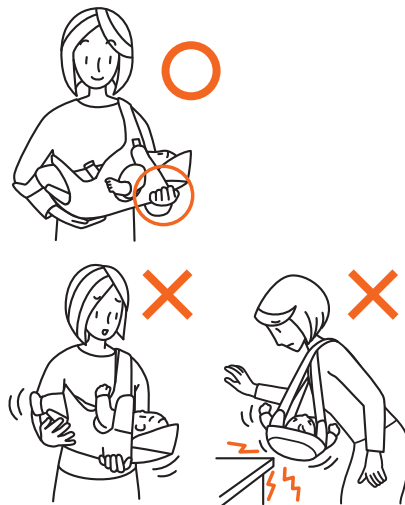
4 お子さまをだっこする

左右の肩ベルトをあわせ、肩からわきへななめにかけます。
上体を起こし、お子さまの頭部とお尻の部分を手で支えます。



※お子さまが良いアングルになるよう、わきベルトを調節してください。（7～8ページ参照）

●お子さまをヨコだっこするときは、図のように必ず後頭部を手で支えてください。



⚠ 警告
上記の内容を守らないと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



⚠ 注意
上記の内容を守らないと、身体を前に傾けたときに使用者の身体から離れ、不安定な状態になります。

ヨコだっこで使うには

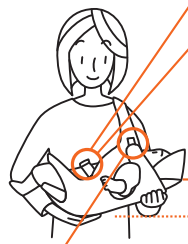
5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

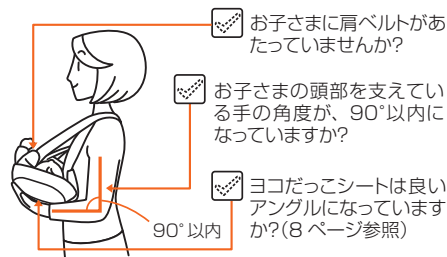


右記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。また、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

チェック✓ポイント



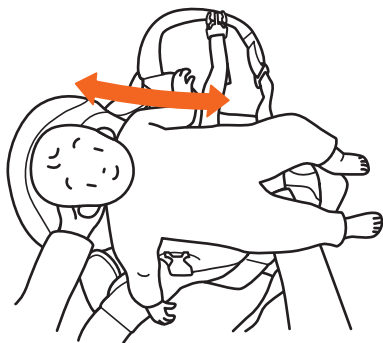
- ✓ ホールドバックルは、確実にとまっていますか？
- ✓ ホールドベルトの長さは調節していますか？(10ページ参照)
- ✓ お子さまの頭の位置はお尻より高くなっていますか？
- ✓ 左右のヘッドサポートベルトの長さは、最短になっていますか？(7ページ参照)



- ✓ お子さまに肩ベルトがあたっていますか？
- ✓ お子さまの頭部を支えている手の角度が、90°以内になっていますか？
- ✓ ヨコだっこシートは良いアングルになっていますか？(8ページ参照)

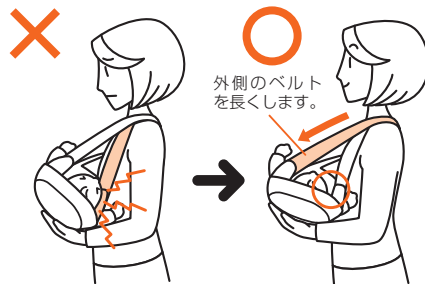
お子さまに肩ベルトがあたってしまう場合には

肩ベルトがあたらないように、お子さまの寝かせ位置を調節してください。

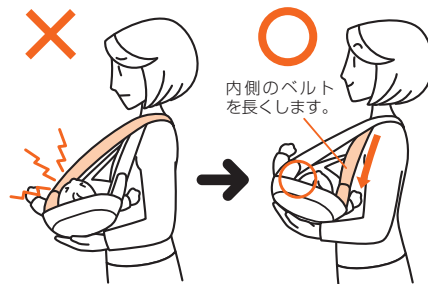


肩ベルトがあたらないように、肩ベルトの長さを調節してください。

●内側のベルトがあたる場合は、外側のベルトを長くしてください。



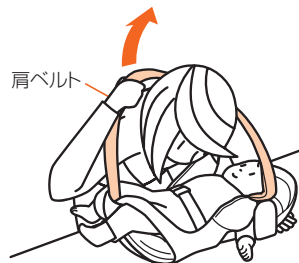
●外側のベルトがあたる場合は、内側のベルトを長くしてください。



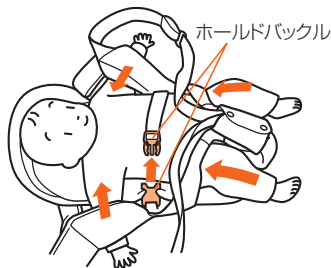
ヨコだっこのはずしかた

1 お子さまを寝かせ、肩ベルトをはずす

お子さまを両手で支えながら、安全な場所に寝かせ、使用者から肩ベルトをはずします。



2 ホールドバックルをはずす



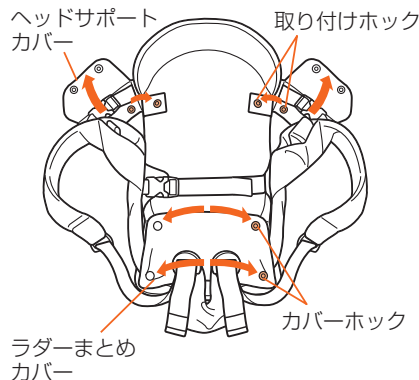
3 両腕と両足を子守帯から抜いたあと、お子さまをおろす

ヨコだっこシートのはずしかた

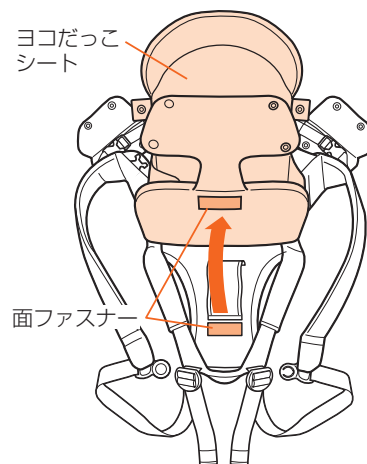
開封時はヨコだっこシートがセットされていますが、洗濯をするときやタテだっこ・おんぶをするときには、次のようにはずしてください。

1 左右のヘッドサポートカバーを開き、取り付けホック(左右2カ所)をはずす

2 ラダーまとめカバーのカバーホック(2カ所)をはずす



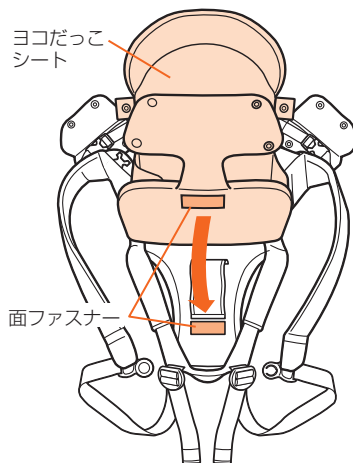
3 シート裏面の面ファスナーをはずし、子守帯(本体)からヨコだっこシートをはずす



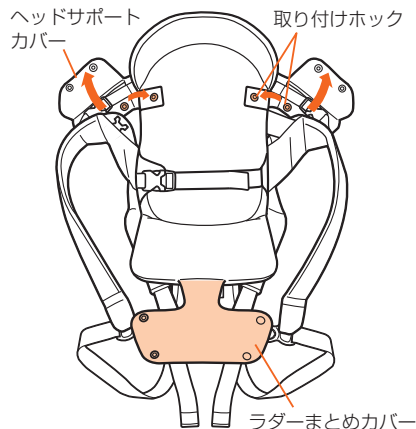
ヨコだっこで使うには

ヨコだっこシートの取り付けかた

- 1** ヨコだっこシートの面ファスナーを子守帯(本体)の面ファスナーにとめ、ヨコだっこシートを取り付ける



- 2** 取り付けホック(左右2ヵ所)をとめ、左右のヘッドサポートカバーを閉じる

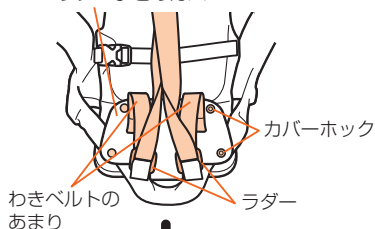


- 3** ラダーまともカバーのカバーホック(2ヵ所)をとめる

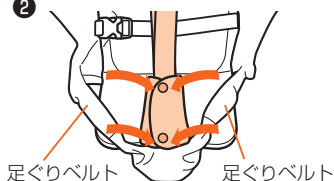
① ラダーまともカバーの上に左右のラダーを下図のように置き、わきベルトをラダーまともカバー内に収まるようにたたみます。

② ラダーとたたんだわきベルトのあまりをラダーまともカバーでつつみ、カバーホックをとめます。(※足ぐりベルトは、まともません。)

① ラダーまともカバー



②



※ベルトなどがカバーから出ていても、ご使用上、特に問題はありません。

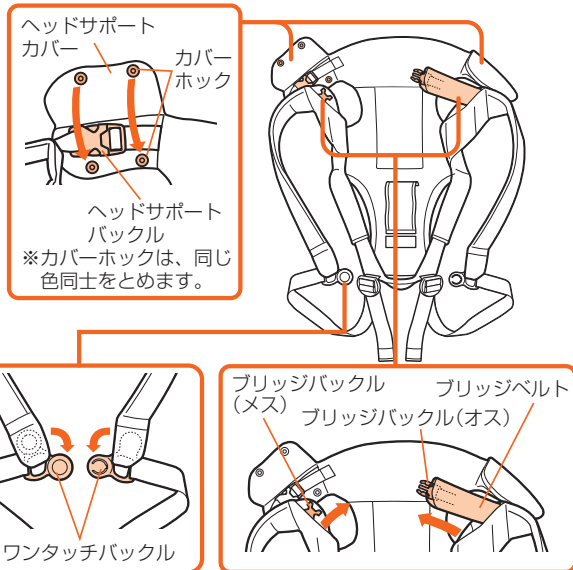


ヨコだっこシートを取り付けるときは、取り付けホック、カバーホック、面ファスナーを確実にとめてください。使用中にヨコだっこシートがはずれると、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ対面だっこの準備

ヨコだっこシートをはずしてお使いください。
ヨコだっこシートのはずしかたは、12ページの「ヨコだっこシートのはずしかた」をご覧ください。

- 1 左右のヘッドサポートバックルがとまっていることを確認し、2 カ所のカバーホックをとめ、ヘッドサポートカバーを閉じる
- 2 ブリッジベルトとブリッジバックル(オス)を取り出す
- 3 ワンタッチバックルを取り出す



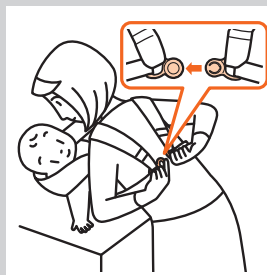
タテ対面だっこで使うには

(子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

タテ対面だっこ(子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)では、シーンやニーズにあわせて装着方法を選ぶことができます。

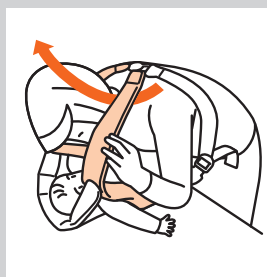
クイック装着 ⇨ 15～17ページ

ワンタッチバックルをとめるだけで、すばやく装着することができます。



くぐるだけ装着 ⇨ 18ページ

後ろに手をまわさずに、らくらく装着することができます。



タテ対面だっこで使うには **クイック装着** (子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

首の後ろ、または背中でワンタッチバックルをとめる装着方法です。

1 わきベルトの長さを調節する

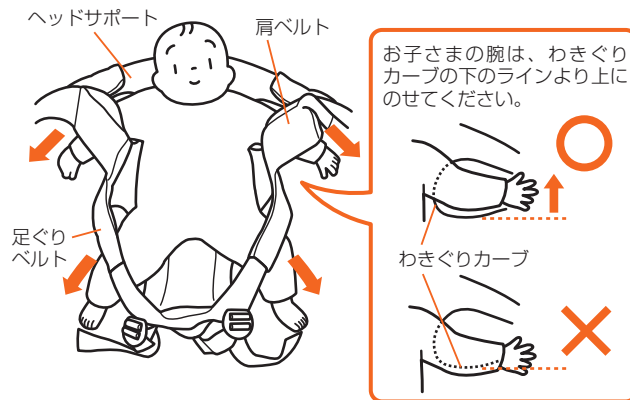
お子さまを乗せる前に、使用者の身体にあうようにわきベルトの長さを調節しておきます。

「わきベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください。



注意 薄い生地、やわらかな生地など、衣服の素材によっては、まれにラダーに衣服が巻き込まれる場合があります。

2 お子さまを子守帯に乗せ、図のように両足と両腕を通す



警告

- お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。
- ブリッジバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

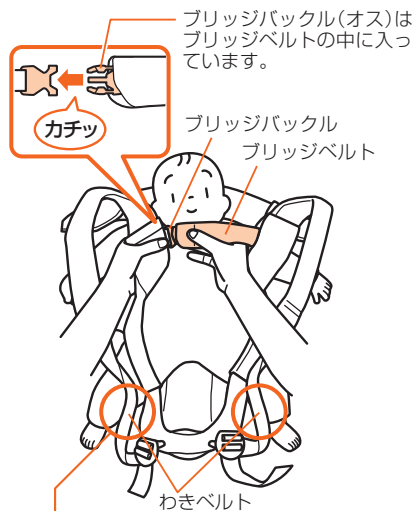


注意

わきぐりカーブより下にお子さまの腕を乗せて装着すると、お子さまのわきがうっ血するおそれがあります。

3 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



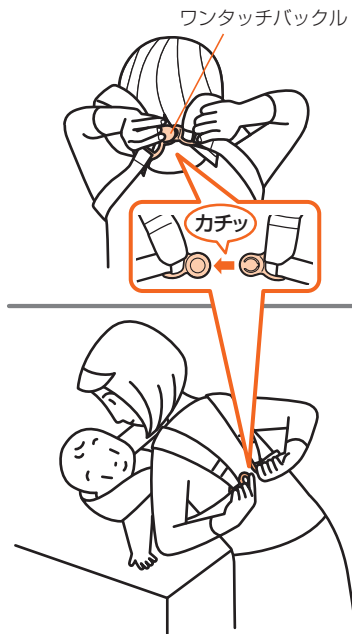
チェックポイント

- 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通過していますか？

※ブリッジベルトは、通気性が確保されているので、お子さまの呼吸には支障ありません。

4 左右の肩ベルトをかけ、ワンタッチバックルをとめる

図のように左右のバックルを持ち、前かがみになり首の後ろまたは背中
でワンタッチバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



タテ対面だっこで使うには **クイック装着** (子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェックポイント

●確実にとまっていますか？

✓ ヘッドサポート
バックル(左右)

✓ ブリッジバックル

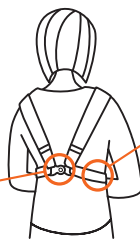


✓ ワンタッチバックル



●使用者の身体にフィットする
ように調節していますか？

✓ わきベルト(左右)



●お子さまについて

✓ お子さまの頭まわりを締めつけすぎではありませんか？(7ページ参照)

✓ お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていますか？(19ページ参照)

✓ お子さまのわきの下がシートにあたっていますか？(19ページ参照)

✓ お子さまのももがシートに圧迫されていませんか？(19ページ参照)



警告

チェックポイントを守らないと、

- ・お子さまが落下するおそれがあります。
- ・お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- ・お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。



注意

お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないように調節してください。
また、足元が見えにくくなることがありますので、歩行には注意してください。

ワンポイント



ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折り曲げると、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。



ヘッドサポートを折り曲げないときはヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかりと支えます。

※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。



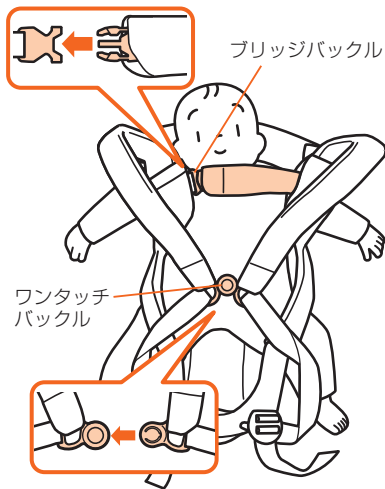
タテ対面だっこで使うには **くぐるだけ装着** (子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

先にワンタッチバックルをとめてから、肩ベルトの輪をくぐる装着方法です。

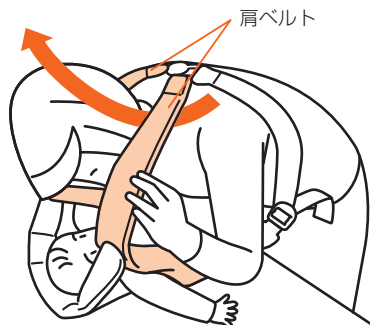
1 お子さまを子守帯に乗せ、両足と両腕を通す

(15ページの手順2をご覧ください。)

2 ブリッジバックルとワンタッチバックルをとめる



3 肩ベルトの輪をくぐり、肩ベルトを肩にかける



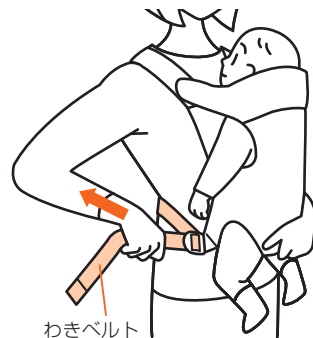
ワンポイント

くぐりやすくするため、あらかじめわきベルトは長めに調節しておきます。

4 使用者の身体にフィットさせる

わきベルトのあまりを左右同じ長さに調節します。

「わきベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください。



注意

薄い生地、やわらかな生地など、衣服の素材によっては、まれにラダーに衣服が巻き込まれる場合があります。

5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

17ページの手順5「チェックポイント」をご覧ください。

警告

ブリッジバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

#

タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）

- ヨコだっこシートをはずしてお使いください。

ヨコだっこシートのはずしかたは、12ページの「ヨコだっこシートのはずしかた」をご覧ください。

- ヘッドサポートベルトの調節のしかたは、7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

- わきベルトを長めに調節しておくと、お子さまを乗せやすくなります。

1 子守帯を取り付ける

肩ベルトを肩にかけ、首の後ろまたは背中ではワンタッチバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

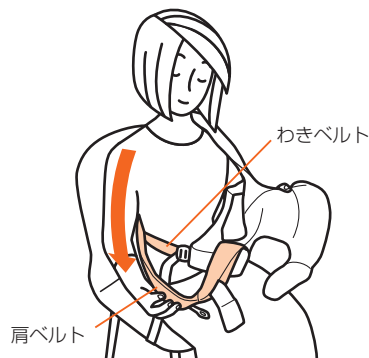


ワンポイント



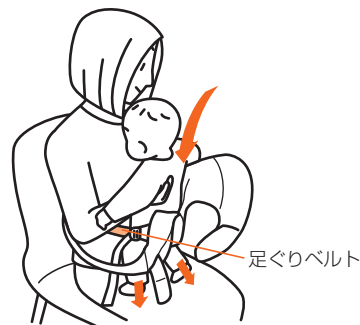
ワンタッチバックルがとめにくい場合は、先にバックルをとめてからベルトをくぐって腕を通し、子守帯を取り付けることもできます。

2 片方の肩ベルトをずらす



3 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所に座った状態で、お子さまを向かいあわせに抱き上げ、子守帯に乗せます。お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。



警告

お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。（他の人に介添えをしていただくとより安全です。）不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

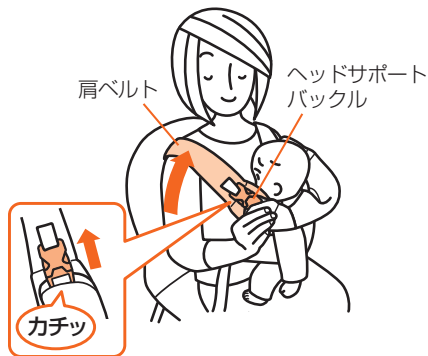


タテ対面だっこで使うには (子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合)

4 肩ベルトを肩にかけて、ヘッドサポートバックルをとめる

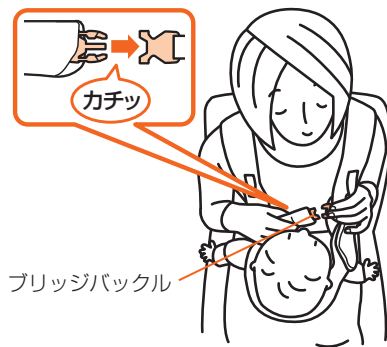
ずらしていた肩ベルトを肩に戻し、ヘッドサポートバックルをお子さまの肩の上で「カチッ」と音がするまでとめます。

※カバーホックをはずしたときは、ヘッドサポートバックルをとめたあとにとめてください。



5 ブリッジバックルをとめる

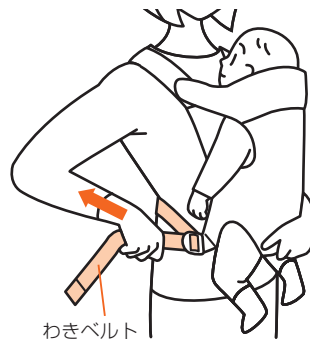
「カチッ」と音がするまで差し込みます。



ブリッジバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

6 左右のわきベルトの長さを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトのあまりを左右同じ長さに調節します。(7 ページ参照)



薄い生地、やわらかな生地など、衣服の素材によっては、まれにラダーに衣服が巻き込まれる場合があります。

7 装着の状態をチェックする

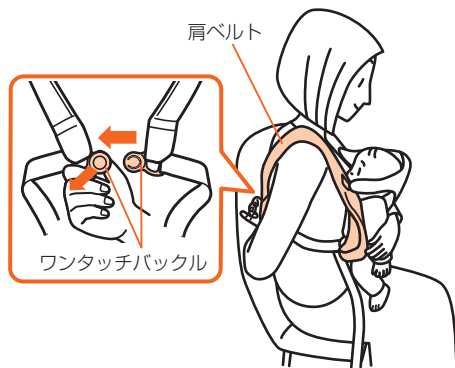
17 ページの手順5「チェックポイント」をご覧ください。

タテ対面だっこのはずしかた 1

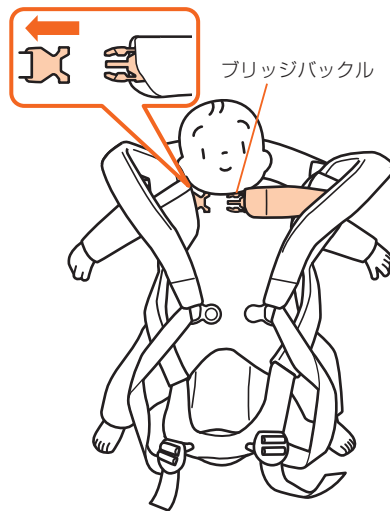
1 ワンタッチバックルをはずして、肩ベルトをはずす

安全な場所に座り、お子さまを支えながら、ワンタッチバックルをはずし、肩から左右の肩ベルトをはずします。

※ワンタッチバックルをはずすには、図のように差し込んだバックルの内側から親指で外側に押します。



2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす



3 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

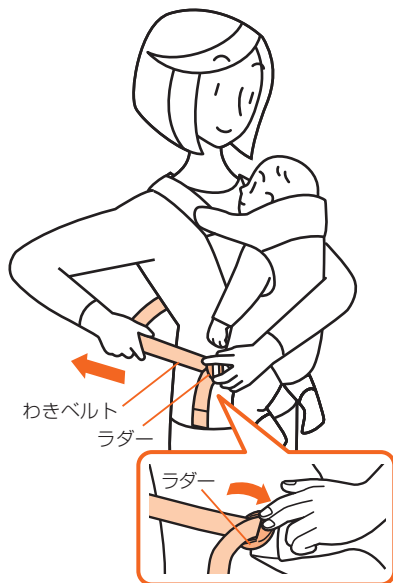
足ぐりベルトを引っ張り、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。

腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

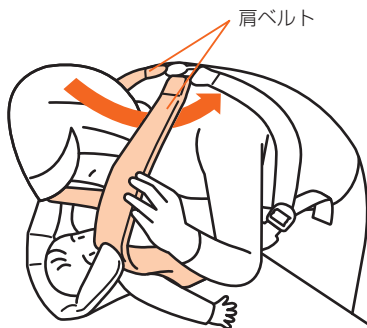
タテ対面だっこで使うには

タテ対面だっこのはずしかた 2

- 1** ラダーを起こして左右のわきベルトを長くし、肩ベルトをゆるめる



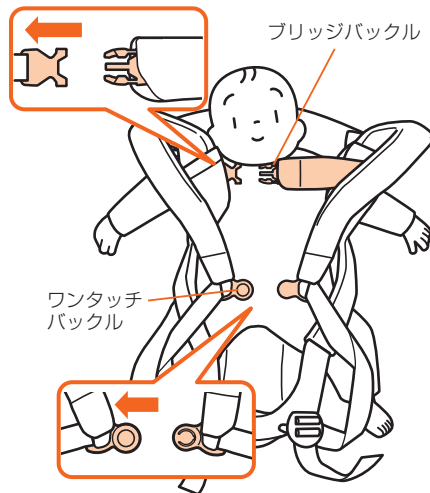
- 2** お子さまを安全な場所へ寝かせ、肩ベルトの輪をくぐり抜け肩ベルトをはずす



- 3** ワンタッチバックルとブリッジバックルをはずし、お子さまをおろす

足ぐりベルトを引っ張り、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。

腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。



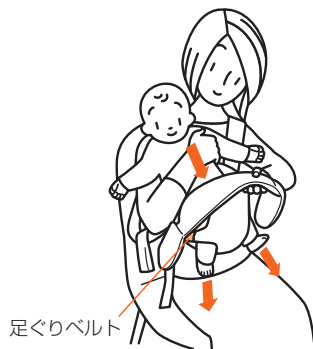
タテ前向きだっこで使うには

1 子守帯を取り付ける

「タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）」(20ページ)の手順 1、2 をご覧になり、子守帯を取り付け、お子さまを乗せる準備をしてください。

2 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

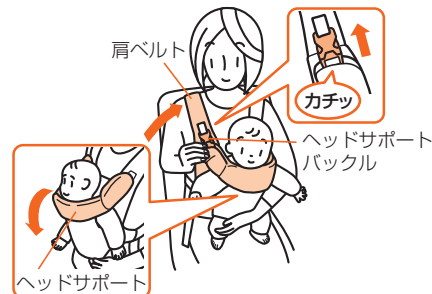
使用者が安全な場所に座った状態で、お子さまを前向きに抱きあげ、子守帯に乗せます。
お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。



お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

3 肩ベルトを肩にかけて、ヘッドサポートを折りたたみ、ヘッドサポートバックルをとめる

ずらしていた肩ベルトを肩に戻し、ヘッドサポートを外側に折りたたみます。お子さまの顔まわりを締めつけすぎないようにヘッドサポートベルトの長さを調節してください。(7ページ参照)
左右のヘッドサポートバックルを「カチッ」と音がするまでとめます。

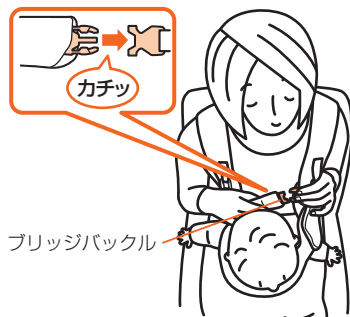


タテ前向きだっこでご使用の際は、必ずヘッドサポートを折りたたんでください。お子さまの顔を圧迫し、傷害を負うおそれがあります。



タテ前向きだっこで使うには

- 4** ブリッジバックルをとめる
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
わきベルトのあまりを左右同じ長さに調節します。

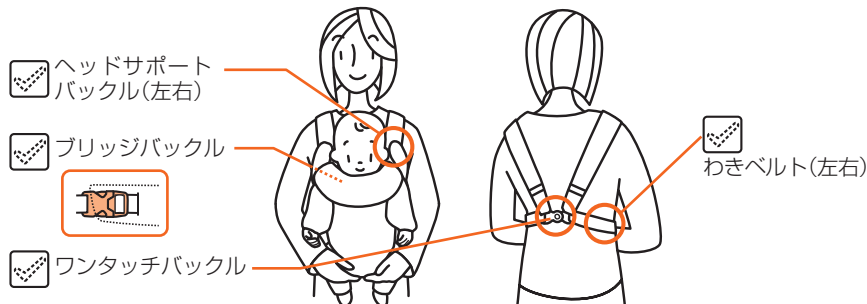


- 5** 装着の状態をチェックする
鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェックポイント

●確実にとまっていますか？

●使用者の身体にあわせて
フィットするように調節していますか？



チェックポイントを守らないと、

- ・お子さまが落下するおそれがあります。
- ・お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- ・お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

タテ前向きだっこのはずしかた

「タテ前向きだっこで使うには」の手順を逆に行ってください。(25～24ページ手順4→3→2)

チェックポイント

●お子さまについて

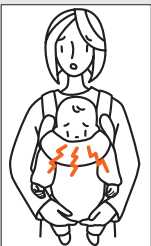


ヘッドサポートが口にかかっていますか？

あたっている場合は、お子さまの位置を調節してください。



お子さまのわきの下がシートにあたっていますか？



お子さまの口がヘッドサポートにかかってしまったり、わきの下がシートにあたってしまう場合には、19ページの方法を参照し、調節してください。

- 1 ブリッジバックルをはずす (25ページ手順4参照)
- 2 左右のヘッドサポートバックルをはずし、片方の肩ベルトをはずす (24ページ手順3参照)
- 3 両足を子守帯から抜き、お子さまをおろす(24ページ手順2参照)

おんぶで使うには

- ヨコだっこシートをはずしてお使いください。
ヨコだっこシートのはずしかたは、12ページの「ヨコだっこシートのはずしかた」をご覧ください。
- ヘッドサポートベルトの調節のしかたは、7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

1 子守帯にお子さまを乗せる

「タテ対面だっこで使うには(子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)」(15、16ページ)の手順1～3をご覧ください。子守帯にお子さまを乗せてください。

チェック✓ポイント

- ☒ 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？
- ☒ ブリッジバックル、ヘッドサポートバックルはとまっていますか？

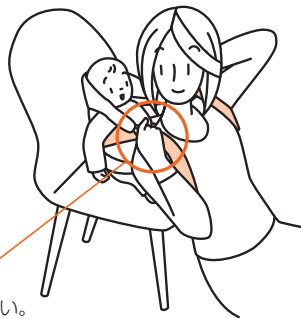


お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がる時は、肩ベルトの付け根部分をしっかり持ってください。

※他の人に介添えしていただくと、より安全です。

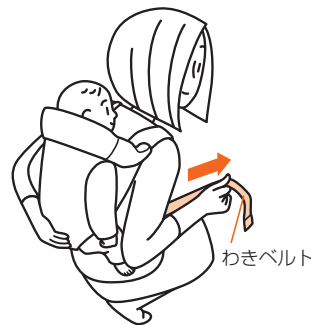


肩ベルトの
付け根部分を
持ってください。



3 わきベルトを調節し、身体にフィットさせる

わきベルトのあまりを左右同じ長さに調節します。



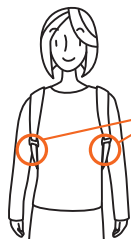
注意

薄い生地、やわらかな生地など、衣服の素材によっては、まれにラダーに衣服が巻き込まれる場合があります。

4 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

チェックポイント



●使用者の身体にあわせて
フィットするように調節し
ていますか？

☑ わきベルト(左右)



●お子さまについて

☑ お子さまの頭まわりを締めつけすぎていませんか？(7ページ参照)

☑ お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていますか？(19ページ参照)

☑ お子さまのわきの下がシートにあたっていますか？(19ページ参照)

☑ お子さまのももがシートに圧迫されていませんか？(19ページ参照)

ワンポイント



おんぶのときは、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えませんが、特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子確認するように心がけてください。

●お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には、19ページの方法を参考に調節してください。

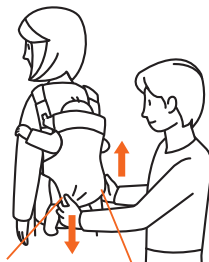
※お子さまが成長し、お子さまの身体的位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。



シートを上方に
ひっぱります。

お子さまのお尻を
使用者側に引き寄せます。

●お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったたり、ももが圧迫される場合には、19ページの方法を参考に調節してください。



シートのみを下方に
引っ張ります。

お子さまのお尻を
持ち上げます。

警告

チェックポイントを守らないと、

- ・お子さまが落下するおそれがあります。
- ・お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- ・お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

おんぶで使うには

ワンポイント



ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折りたたむと、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。

ヘッドサポートを折りたたまないときはヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかりと支えます。

※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。

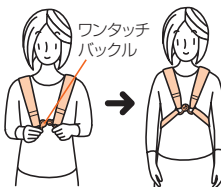


ワンポイント



クロススタイルでおんぶする

わきベルトを伸ばし、ワンタッチバックルを胸の下の部分でとめ、使用者の身体にあわせてフィットさせると、クロススタイルのおんぶも可能です。

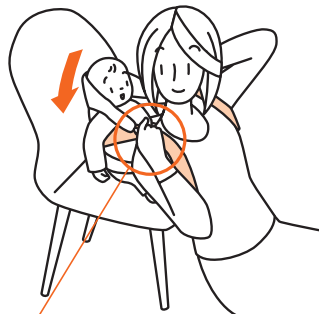


使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。
特に、授乳期の母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。乳房を圧迫するおそれがあります。

おんぶのはずしかた

※ クロススタイルのおんぶの場合は、ワンタッチバックルをはずしてから行ってください。

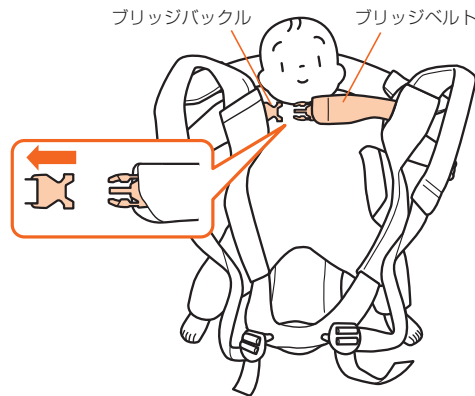
- 1 お子さまを背中からおろす
※他の人に介添えていただくとより安全に行えます。



肩ベルトの付け根部分を持ってください。



- 2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす



- 3 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす
足ぐりベルトを引っ張り、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。
腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

便利なオプション（別売り）

●清潔お着替えフィットカバー



頭の汗やよだれを吸収し、汚れたらはずして手軽に洗濯できます。

※写真とは仕様やデザインが異なる場合があります。



●5ウェイ子守帯ケープ

ベビーカーにも使える5ウェイタイプ。
春・秋は風よけとして、寒い時期は防寒として、
活躍する便利なケープです。



ベビーカーでの使用例



お手入れ

本体のお手入れ

日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。

洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。
- ヨコだっこシートは、面ファスナー（オス）が他の洗濯物を傷つけるおそれがありますので、別に洗ってください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯表示、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。



お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

点検とアフターサービスについて

- ご使用の際には、製品のほつれ、傷、やぶれ、バックルなど部品の破損がないか、確認してください。



上記を1ヵ所でも見つけたときには、**すぐに使用を中止してください。**
そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用中に子守帯の破損、異常、やぶれ、ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、収納袋内側の洗濯ラベル裏側をご覧ください。製品名・ロット No. をお知らせください。
- 本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。

子守帯の場合は、お買い上げ日より3年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。



●製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者(お子さまなどの場合は、保護者)が、事故発生日から 60 日以内に下記までご連絡願います。

製品安全協会	東京都台東区竜泉 2 丁目 20 番 2 号 ミサワホームズ三ノ輪 2 階 TEL.(03)5808-3300
--------	---

●事故の届出に必要な項目

- ① 事故の原因となった製品現品
 - ・製品名称、ロット No. ・購入先、購入年月日
- ② 事故発生の状況
 - ・事故発生日月日 ・事故発生場所 ・事故発生状況
- ③ 被害の状況
 - ・被害者の氏名、年齢、性別、住所 ・被害の状況

品質保証書 コンビ 子守帯

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名		ロットNo.	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
(本体の取説使用ポケット内側にある洗濯表示ラベル裏の番号)			
お客様	お名前		お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒 TEL		
販売店	店 名 TEL		
	住 所		

修理メモ

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
 - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) 縫製品の傷やぶれ、変色。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 - 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

コンビ製品をご購入いただいた方へ、知って得する情報です

コンビ製品&子育て情報サイト「コンビタウン」に会員登録すると、便利でお得なサービスがいっぱいです！

【主なサービス特典】

☆お得な情報が満載のメールマガジン

アンケート募集の他、イベントやポイントプレゼントのお知らせ、お得なコンビ製品のセール情報などをメールマガジンで会員の皆さまにお知らせします。

☆ポイントを貯めて、コンビミニでお買い物

コンビ製品の所有品登録やアンケートの回答、コンテンツへの応募などでコンビタウンポイントが貯まります。

貯まったポイントはコンビミニのお買い物ポイントとして使用可能！1ポイント＝1円として使えます。

※詳しくはWebサイトをご覧ください。

●特典内容は変更されることがあります。ご了承ください。

その他にも会員ならではの特典をご用意しております。

ご入会は「コンビタウン」Webサイトのトップページからお願いします。

アクセスはこちら ⇒ <http://www.combibaby.com/>

コンビタウン

検索

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ（Customer Service Center）

受付時間：10：00～17：00（日祝日、年末年始を除く）

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

部品販売（相談）窓口 / 部品購入のお問い合わせとご注文 TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ（Customer Service Center）／西日本担当

受付時間：10：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16 TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

* ホームページのご案内 <http://www.combi.co.jp/cp/>

Web上にコンビの育児サイトを開設しています

コンビの製品&育児情報サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>